

# 健康へのメッセージ

## 子供の発熱の対処法

シリーズ⑧

東陽病院内科医師 鈴木健士

光町のみなさんこんにちは。暑い夏も終わり秋になっている頃かと思いますが、今回はこれからの季節に多い子供の発熱（風邪）についてお話ししたいと思います。

子供は生まれて4〜6ヶ月ぐらまではお母さんの免疫（外界の菌などに対する抵抗力）を受け継いでいます。ですからお母さんが出会ったことのあるウィルスなどには普通発病せず、もちろんあまり外に出る機会もないこともあってあまり風邪などをひきません。

しかし生後6ヶ月を過ぎる頃からお母さんの免疫が切れるため、今後は自分の力で抵抗力をつけなければならなくなります。この頃から除々に外で遊ぶことが増えることもあり、風邪をひくことも増えてくるわけです。子供が熱を出したりすると、特に初めてののお子さんを持つお母さんは慌ててしまうのも無理のないことですが、これから外界の病原体に対する抵抗力をつけ、強い体力を作っていくためには必要な経験と言えるのかも知れません。しかし経験といってもその病気で重症になってしまつては元も子もありませんので、いくつかの注意すべき点を知って頂きたいと思っています。

外来にかかれる時に熱を大変心配される方が多いようです。特にお子さんはかなり高い熱が出る事が多いのですが、熱よりもむしろお子さんの場合は「元気があるかどうか」ということを注意された方がよいと思います。40度の熱があつても元気にしているお子さんよりも、たとえ熱はなくてもぐったりとしておもちや遊ばないお子さんの方が心配です。特にお母さんが「いつもと全然違って元気がない」と感じる状態を注

意すべきだと思います。もちろん熱があれば多少は元気もなくなり、食事も減るものですが、お母さんの「いつもと違う」という感覚は大切にすべきだと思います。ただし体温が重要でないという意味ではありませんので念のため。5歳頃までのお子さんは高い熱があると熱性けいれんというけいれん発作を起こすことがありますので、38・5度以上の熱があれば解熱剤の坐薬などで熱を下げた方がよいかと思ひます。

また食事がとれないというのもご心配と思いますが、お子さんの場合水分がとれていればとてりあえず大慌てはしなくてよいかと思ひます。水分がとれば1〜2日では栄養失調にはならないものです。ただし水分がとれないときはお子さんはすぐ脱水になってしまひます。特に熱のある時はなおさらです。その時は点滴や入院を考慮するケースもあるかもしれません。

お母さんが慌てると子供は敏感に感じ取つて緊張してしまひます。慌てずによくお子さんを観察し、ご心配な際にはお気軽にかかりつけ医にご相談ください。

### 母親学級

日時 10月27日(金)  
午後2時〜4時  
場所 東陽病院  
産婦人科外来  
対象 制限はありません

※東陽病院の休日当番日

10月9日(祝)・29日(日) 午前9時〜午後5時  
医師2名が待機・来院の際は電話を ☎⑧413335

### 開館6周年記念映画会



#### 「雨あがる」

黒澤明の残した最後のシナリオが映画化された。江戸中期、腕は立つが仕官できない浪人と、その妻の物語

の中に、黒澤明の想いが込められた作品。

期日 11月3日(祝日)  
上映時間 1回目 午前10時  
2回目 午後2時  
定員 各100名  
入場 整理券(無料)を10月21日(出)から図書館カウンターで配布します。

### 文学講演会

演題 『あーして、こーして、絵本ができて』  
講師 いうひろし氏(児童文学作家、絵本画家)  
日時 11月5日(日) 午後1時30分  
場所 ハイビジョンホール  
定員 100名  
申込・問合せ 図書館

ほんの



=町立図書館= ☎⑧43311

#### 講師紹介

昭和32年、東京生まれ。早稲田大学教育学部卒。在学中から絵本の創作をはじめ、現在は絵本、童話、イラストレーションなどのジャンルをこえて作家活動を展開している。自作の童話や絵本に「ルラルさんのにわ」、絵本につぼん賞「マンホールからこんにちは」、児童文芸新人賞「おさるのまいにち」など多数ある。



いう氏の著作本

### 10月の休館日

8日(日)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)、31日(火)